宇山カーボン勝つ

六百数十日がんばり抜く

じん肺絶滅めざす闘い

かねてじん肺絶滅と労災補償の要求と、企業閉鎖反対で闘っていた宇山カーボン労仂組合（大阪府茨木市宇野辺一五一一で、化学同盟所属）は勝利をおさめた。

残酷な職場から立ち上がる

宇山カーボンといえば、残酷な職場だった。黒鉛、コークス、タール、ピッチなどの原料を混合し、それを千五十度という高熱で処理しながら乾電池用の炭素棒を生産しているが、そこに仂く三十人足らずの労仂者が組合をつくって、闘いに立ち上がったのである。

職場の性質上労仂条件や環境は極端に劣悪で、シャツを四枚も重ね着してさえ体が真黒に汚れるという。実に仂く人の三人に一人がじん肺患者（それもこれまでは結核で私症処理されてきている）である。中でもそこに仂く労仂者の一人＝名和さんの場合とくにひどく、本人がじん肺になって入院したあと、何とかわって仂いていた奥さんまでがじん肺に冒されてしまった。

昭和四十一年二月のこと、宇山カーボン労組は意を決して、前述のようにじん肺の絶滅と労災補償を要求して闘いに立ち上がった。

資本側は糧道を絶ってきた

これに対して資本家側はあくまで「カーボンは薬にはなっても、毒にはならぬ」と主張してゆずらない。まさに糧道を絶ってきたのである。

この間化学同盟（主としてその関西の組織）が心のこもった支援を行なったことはもちろんのことだが、ここに至って平均年齢五十才を越えるカーボン労仂者のいのちがけの闘いがはじまった。

職場を占拠してがんばった

まずカーボン労組は断固として職場を占拠した。そして、とくに長期に闘った全国の労仂者の経験に学び、地域や職場に多発する災害や職業病撲滅の闘いと結合しながら、闘いを地域に産業別共闘の場で広げ、大きく発展させていった。

以上のもり上がりの中で問題解決を求める法廷闘争もすすめたのだったが、地域的産業別的に、全労仂者からささえられて闘ってきたカーボン労組の団結がくじけるはずがない。労仂者のいのち、生活と権利を一方的にふみにじろうとたくらむ資本の攻撃に、正しい要求をかかげながら一歩一歩前進してゆく労仂者は強い。ついに去月十八日裁判所において、基本的に労仂者の生活と権利を認めさせながら調印でき、同月三十一日をもって六百数十日にわたった長い闘争を終った。

ついに勝利へ

宇山カーボン労組は、あらゆる面で勝利した。まず、工場の生産を守りぬいた。「首切りは無効である」「その地位は保全される」との仮処分を勝ちとった。

しかもその上に、ねばり強い仂きかけが実って自治体から「医療保護や生活保護の市会決議」「越年資金の獲得」「税金免除」「失業保険や健保などの保障」などもとった。何より同労組の闘争は、地域闘争、産業別共闘の場における じん肺をはじめ労災・職業病絶滅の闘いを大きく発展させる原動力となった。輝しい勝利だ。

同労組の宮田数巳委員長は長かった闘争のあとをふりかえりながら、語っている。

この勝利を反合闘争の砦に

「宇山カーボンの労仂者は、低賃金、長時間労仂、無権利状態のもとで、平均年令四十五才、平均勤続年数十四年の、企業意識の強い組合でした。しかし四十一年の春闘前段より、じん肺問題を個人の問題として放置するのでなく、組合全体の問題として組合の闘争の中心課題としてとり上げ、組合としての安全教育、安全点検を実施し、経営者の安全サボを実力行使をバックに追及し、また資本となれ合いの監督行政を追及するなかで、私たちのいのちと健康は闘わなければ守れないことを、組合員一人一人が自覚するようになりました。

私たちはこの闘いの中で、労仂災害や職業病は、職場に労仂者がいる限り必ず発生するものであること、いのちと健康を守る闘いは幹部闘争でなく、大衆闘争に徹底しなければできないこと、またこの闘争は経済闘争以前の問題として真剣にとらえなければならぬ問題であること、などを教えられました。

私たちはこんどの勝利を反合理化闘争の砦としながら、これからの闘いを決意しています」

この宮田委員長の決意は、いま勝利のよろこびをかみしめている宇山カーボン労仂者全体の決意であることは述べるまでもなく、「いのちを守る闘い」（CO闘争）をすすめている三池の労仂者にとって、この闘争が示す教訓ははかり知れず大きい。

腰痛など激増

―神岡鉱山―

岐阜県にある三井金属鉱業神岡鉱山の栃洞坑では、最近の増産体制のなかで腰痛や振動障害などの職業病がふえている。

組合が昨年十一月、坑内全職種三百七十八人を対象に調査した結果、現在腰痛を訴えている人は二百二十人（五八・九％）、そのうち原因が冷えと重量物運搬にあると思う人が百四十二人（五八・九％）である。

職労災職業病対策ニュース

大阪府高槻市宮野町1-2
TEL（0726）2[illegible]
北摂地区職労災職業病対策会議（仮称）準備委員会

宇山斗争終結近し

燦と輝く労仂運動の金字塔

―宇山をつつむ共斗 新たなる発展へ―

宇山カーボンが立ち上がると、ただちに地域の労仂者が共闘をもつて宇山の闘いをたすけた。この新聞は、その共闘組織が発行しつづけてきた新聞である。

三池で秘かに誓ったことを心のささえに

春田実章さんからの便り

（春田さんはこんどの〝三池に学ぶ集会〟に参加された方）

第六回三池集会に参加した一人として、厚くお礼申し上げます。

大牟田駅より会館までの道案内や昼食の面倒まで見て下さった主婦会の方々、私たち一人一人のどんな疑問に対しても、一つ一つていねいに説明して下さった組合員の皆さま方に何とお礼申します。

三池にまなぶ会というと何かを学び取ることが当然でありますが、事前研究不足で具体的なものを余り吸収することが出来ませんでしたことは、実に恥かしいことであります。

ただ一つだけ言えることは、大層生意気な表現でありますが、私の内なる三池が、自分の目にハダに直接ふれたことであります。このなかから少しずつ何かを学びとったものが出てくるものと思われます。

自分も小さな存在でありますが、組合運動の中において、少しずつ活動しています。つらく、苦しい壁が立ちふさがることは、当然予想されます。しかし三池の皆さま方との交流の中で心にひそかに誓ったことをささえとして、自分なりに頑張っていきます。闘いは現在だけのものではなく、昨日、今日、明日と長く息づいていくように努力したいと思います。

礼状がスッカリ遅くなり、申しわけありません。今後ともよろしくお願いします。

昭和四十四年二月一日

三池炭鉱労仂組合員
並びに主婦会員
御一同様

秋田でもひろがる『守る会』

秋田　長岡靖明

拝啓

爆発以来すでに五年、いまなお闘いを発展されている三池労組と主婦会のみなさんに深く敬意を表します。

私も三池にまなび、三池の火を地方に少しでもと、つね日ごろ考えほんの少しですが活動しています。

守る会の申込書二十部ほど送っていただき、本当にありがとうございました。

まだ加入者は四名ですが、これからもつづけます。また大館市においては社青同がいま「守る会」に加入するべく活動をはじめたところです。

また秋田の阿仁地方へのオルグも予定しています。とりあえず四名を十二月十五日から半年間加入させてもらいたいと思います。

三池とともに

東京　津久井清氏

前略

毎日の活動でくろうさまです。早速ですが、ぜひ「CO患者を守る会」の一員に加えていただきたく連絡いたします。

思えば「三池のたたかい」にはげまされ、そして実際に見、話すなかで一人の活動家となり、一生の方向をきめた私としては、もっとはやく入会したかったのですがおくれたことをおわびいたします。

では要件のみ、よろしくおねがいします。

「三池CO患者を守る会」に入会された方々

（一月十七日現在）

武内　満喜　吹田市元町四の二一
田中　計　堺市の豆塚二丁目
植田　典隆　堺市長曽根町六七〇
（以上十六名大阪不知火会）
西川　米生　高槻市芝生町
本田　勝喜　大阪市西淀川区
高木　慎一　福岡市春吉三丁目
武田日出男　愛媛県豊田市明和町
松藤　武士　大阪市西淀川区
森　一正　大牟田市櫟野
井上　渡　兵庫県明石市大観町
島田みえ子　長崎市上西山町
墨田　早人　荒尾市上平山元村
西島　保雄　〃　上井手上
弘島　寅典　〃
門田　嵩　〃　下井手古庄原
平山　重則　〃
山田恵美子　大牟田市大字新町
松本　繁一　荒尾市四山上区
森江　忠好　京都府乙訓郡
山本　政弘　東京都世田谷区
宮原　一幸　埼玉県入間
宮原　保　大牟田市加納町
（匿名希望）荒尾市緑ケ丘
菊川　耐生　大牟田市馬込町
小堺　正義　大牟田市臼井新町
松田　信也　大牟田市神田町
坂口　藤雄　大牟田市臼井町
百田　智汎　荒尾市下井手倉掛
佐藤　三郎　大牟田市野添町一六
幸田　繁美　大牟田市野添社宅
高田カツエ　三池郡高田町厚
佐藤　二　大牟田市久福木
藤田　義成　大牟田市東新町
久保　正一　大牟田市三池
川野ツル子　大牟田市白川
永野ユリ子　大牟田市上白川
福永　文治　大牟田市中町
野田　尚　大牟田市四山町
関　義男　大牟田市臼井新町
中山　秋好　〃　大牟田市宮山町
磯野徳太郎　大牟田市七浦町
上田　勝秋　大牟田市大平町
島村　岩生　荒尾市大字
岡田　清一　静県市内牧
田中真由美　大牟田市臼井新町
小嶋マツエ　大牟田市諏訪町
高田　健介　大牟田市南船津町
田上　光雄　〃
前田　正幸　〃
中島　辰見　〃
（匿名希望）大牟田市新港町
竹喜　観行　大牟田市三川町
小廉原とし子　八尾市山本南
金子　嗣郎　東京都府中市清水丘
野上　照基　福岡市百道本町
古賀　康博　横須賀市久里浜寮
橋本　シズ　大牟田市久福木
久保目喜一　秋田市栖山御島町
小柳　重義　大牟田市野添社宅
大津　伝次　荒尾市原万田甲根
池田　幸生　福岡市次郎丸踊町
出村セツ子　大牟田市三川町
仲宗根玄臣　沖縄県宮古平良市
西森　一義　大牟田市出雲町
加藤　説夫　熊本県玉名市
余語　実　大牟田市上宮町三
西川　康博　大牟田市桜町
木庭喜久男　大牟田市笹原町
黒木　宗雄　山門郡瀬高町高柳
赤塚　明子　熊本県玉名郡
柳本　静代　大牟田市宮坂町
中谷　静子　大牟田市笹原町
（以上九名三池印刷）
吉田　磯彦　大牟田市日の出町
松本キクヨ　荒尾市下井手
永登　修　〃
野田　幸雄　〃
赤石しずよ　〃
石橋　末吉　〃
竜本　長敏　〃
田中　茂　〃
高田　シマ　〃
和田　学　〃
角　岩夫　〃
松尾　繁　〃
沼田百合子　荒尾市万田社宅
上田　孝子　〃
近藤かつ子　〃